

3月号

いっしん

平成28年(2016年)

第374号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-622895 /FAX 020-4665-5653

Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

真心の
ただ一筋に
祈れかし
身のこと共は
神にまかせて

甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師御款

小倉教会 初代教会長 桂松平 大人100年祭 平成28年 4月20日(水)
加治木教会 布教65年記念大祭 平成28年 5月29日(日)



安武松太郎大人



65年祭(霊祭)



65年祭(霊祭)



報徳祭

甘木親教会報徳祭ならびに 安武松太郎大人六十五年祭 をお迎えするに

安武松太郎大人六十五年祭参拝の
前月、一月二十二日、加治木教会月
例祭後の共励会で信徒の方から「加
治木教会の布教六十五年記念大祭は、
四か月後に迫っています。何も準備
の御用が始められていませうが、は
たしてこれでよいのでしょうか」と
いう意見が出ました。

そのためお話ししたことは…
来月の二月十七日には甘木親教会
初代教会長安武松太郎大人六十五年
祭が迫っています。昨年、前月の十
二月には甘木親教会二代教会長安武
文雄大人十五年祭に加治木教会を挙
げて御用に参拝におかげを蒙らせて
いただきました。

加治木教会の布教記念大祭前では
ありますが、親教会の大きな式年祭
でありませう。

親教会の安武松太郎大先生は、三代
金光様から甘木へのご布教のご神命
を明治三十六年と頂かれてありまし
たが、山積する小倉教会の御用を置
き去りにしてご布教に出立されず、

それから一年ほど遅れた明治三十七年になってご布教に出られました。

当時のことを師匠の桂松平先生は「わがごとと、下り坂は、急がん者はないが、うちの安武は、わしが出よというても、出んという。家には七口八口（七・八人の家族）を抱えておりながら…」と語られたということですが、このことは安武松太郎大先生の「もとを大切に」されるご信心からであります。

加治木教会は、安武松太郎大先生が伝えられた教祖様のみ教えの大切な点である「もとを大切にすること」をシッカリと頂いていくべきであります。

そのためには、たとえ加治木教会の記念大祭前であっても、親教会の初代・二代親先生の式年祭に全力を傾けないで、わが教会のことに手をつけることはばかられます。

加治木教会の布教六十五年記念大祭の準備は、二月十七日の甘木親教会初代教会長安武松太郎大人六十五年祭が終わってから始めたいと思います。

たとえ三ヶ月しかないといえども、

それのできることをさせていただければ結構なのです。

それが、神様の最もお喜び下さることであろうと思えますのでよろしくお願いします。

さいわい、昨年の七月には加治木教会の矢野サダ子親奥様三年祭をお仕えし、一昨年二月には前の教会長矢野政美親先生の十五年祭をお仕えさせていただきましたので、大きなご祭事をお迎えする予行演習は重ねてさせていただいておりますので、ありがたいことでもあります。（教会長）



安武松太郎大人65年祭 ご祭典



運転は上田さんがおかけ頂かれました

安武松太郎大人 六十五年祭 参拝

加治木町では、紅梅が満開となり白梅が七分咲きとなった二月十七日、甘木親教会の報徳祭ならびに初代教会長安武松太郎大人六十五年祭に参拝させていただきました。

午前六時五十分に、七名の参拝者に乗せたワゴン車は加治木教会を出発しました。

上田和也さんの運転で高速道路を順調に走り、午前十時過ぎに甘木親教会に到着させていただきました。

十時二十分から仕えられる、お広前での祭典前講話も拝聴させていただきましたことができました。

祭典前講話は、加治木教会長の実兄、津上豊一先生（福岡県・東郷教会長）でした。

午前十一時から報徳祭のご祭典が仕えられ、安武道義親先生ご祭主のもと、お道のためにご尽力下されたご霊神様方をお称えし御礼を申し上げられる内容の祭詞が奏上されました。

初代教会長安武松太郎大人六十五

年祭は、渡瀬教会会長古賀正人先生がご祭主をお仕えになられました。古賀正人先生は、安武松太郎大先生の最晩年にご膝下でご修行生活を送られた先生で、祭詞も感極まられながら奏上されてありました。

ご祭典後の偲びの講話では、古賀先生は安武松太郎大先生のご様子やみ教えをお話し下さいました。

特に、加治木教会前教会長矢野政美大人とは、同時期に修行生としてお過ごしになられたこともあり、安武松太郎大先生のご信心の御取次として、矢野クラ刀自の伝えられた「十三才の腎臓病の大患での御取次」「ホグロの宿替え」のお話も詳しく紹介されました。

加治木教会前教会長矢野政美大人は、甘木親教会初代教会長安武松太郎大人の百日祭が終わられて間もない昭和二十六年六月十八日に、戦前にご布教されて開かれた加治木教会がなくなり戦災でさびれた加治木町に、再布教されたのです。

そのため、安武松太郎大先生ご帰

幽の年が、現加治木教会の布教の年でもありますから、今年には布教六十五年記念大祭を五月二十九日(日)お仕えさせていただきます。



奥津城参拝



ご祭典・教話後、境内にて



お食事中、失礼しました！

鹿児島地方教会連合会 定期総会

開催される

鹿児島地方教会連合会の定期総会が、一月三十日(土)鹿児島教会において開かれました。

当初、連合会定期総会は一月二十四日(日)に開催される予定でしたが、大雪のため延期されることとなりました。

開会式において連合会長 馬渡三郎先生(志布志教会長)により、連合会の活動方針の説明などを含めてご挨拶がありました。



馬渡三郎先生

開会式に引き続いて総会が始まり、議長は松井信継先生(宮之城教会長)が務められました。

教会を代表する教師・信徒各一名ずつが出席し、計二十四名の出席があ、定期総会の議決は成立することとなり議事がはじまりました。



行徳真一郎先生
先唱にてご祈念

内容は、午前中に平成二十七年活動報告・決算報告・平成二十八年度活動計画案・予算案審議が行われ審議内容も承認されました。

午後は研修で感話発表・共励・懇談が行われました。

感話発表は、永原久子氏(加治木教会)と瀧上勝一先生(枕崎教会長)でした。

閉会の挨拶では、信徒部会長の入木田 覺氏(大口教会)による「信行取り組み表」についてのお話などがありました。



永原久子氏



松井信継先生



瀧上勝一先生



入木田 覺氏



「信心を続け、伝えていく」

青木トミ子氏 (下)

(愛知県 名城教会 在籍)
東海教区「信心の喜びを語る集会」

での発表

平成二十七年七月十二日

青木トミ子氏は、鹿児島県始良市北山の向江家に生まれ、加治木教会前教会長矢野政美大人の布教(昭和二十六年)間もない頃、家族一同入信。トミ子氏の実姉向江ナツ工師(元左屋教会教長)が若い頃、起死回生のおかげを蒙ることをきっかけに、ナツ工師が教師へとお取立ていただき後に愛知県にて佐屋教会を設立。移住した家族は佐屋教会教徒として信心を進めた。ナツ工師は高齢と心身不調のため、平成十八年に佐屋教会を閉鎖・解散。トミ子氏夫婦は現在名城教会(教会長河合利男師)在籍教徒として信心を進める。

しかし、先生にはなかなかお取次が頂けませんでした。昔からのお付き合いのある方で、ずいぶんお世話になっていたことも事実です。

〈私ごとで起きた問題で、先生に心配をおかけしたのでは…〉と、自分で何とか解決しようと思っていたのですが、人間関係の上で悩み、円形脱毛症になってしまいました。



青木トミ子氏 夫 青木 宗一氏

心ある友人が「なぜ先生にお願ひしないの」と再三言われる中、二ヶ月後に迎える感謝祭を前に、ようやく教会長先生にお取次ができました。先生は「未信奉者の方のお参りも大切かも知れませんが、感謝祭が、神様へのお礼のお祭りなのか、友人たちのためのお祭りなのか、わからないようになっていませんか」「あなたは、願ひを息子たち家族への信心の継承と改めて願ひを立てて取り組んでいるのではありませんか。良い機会ですから、次の感謝祭からは、息子さんたちに都合を聞いて、息子さんたちが参拜できる日に感謝祭をされたらどうですか」と教えて下さり、私たちの「考え違い」「心得違い」に気付かせて下さいました。

五年前までの感謝祭は、息子たちには「遠いだろう」「忙しいだろう」とか負担をかけ

させないようにとの思いで知らせていませんでした。

感謝祭を前に、息子たち二家族に知らせたところ「法事だと言ってお願いすれば休める」と言ってくれ、都合をつけてくれました。

その後は、三家族全員がそろって感謝祭を仕えることができ、今年で五年になります。

その後、京都の長男も仕事のことや息子の進学のことなど、ことあるたびに電話でお取次を頂きおかげを蒙らせていただいております。

孫も感謝祭のお話を聞いて、自分の進路のことについて、自分でファックスを送って先生にお取次を頂く、嫁は嫁で自分の資格試験や主人のことなど、私を通じてお取次が頂けるようになりました。

年に三回ほど実家に帰ってきましたが、必ず名城教会に御礼参拝して頂けるようになりました。

高校三年生と中学三年生の孫たちも自分のお小遣いをお献備に入れて、自分たちで名前を書いてお取次を頂くようになりました。

その高三の孫が今年四月十日にお

腹が痛くなつて入院したのですが、二・三日は病名もわからず、詳しく検査をした結果「O157」とわかつて息子はすぐに教会へ電話のお取次を頂いたそうです。

私にも電話がかかってきたとき、ふとへ今年一月から四月まで青木家には難儀なことが続きましたが、神様が青木家におかけを受けよとの思し召しだ」と思わせていただき、朝夕の御祈念に日々お繰り合わせを頂いているお礼を申し上げ、お詫びと青木家が立ち行きますようにとお願いさせていただきました。

孫が感染症に罹ったことから長男家族の者もすべて検査を受け、結果が出ないと仕事には行けなくなりました。

特に息子は料理人で、介護施設の食事を任されておりますので、感染が広がってはいけないと心配をしておりましたが、検便検査の結果「O157」に罹っていたのは孫だけで、入院して十日目に無事退院することができ、その日から息子も仕事に復帰することができました。

息子は仕事が忙しすぎて大変だと

言っていました。感染への心配と身体が悪くないのに仕事に行けないつらさを経験し、結果が良くて、仕事をさせていただけるとのありがたさがわかったようです。

大府市に住む次男も、教会へ参拝させていたたくようになり、結婚・長男の誕生・家の新築と順調におかけを蒙らせていただいております。したが、だんだんとお取次もお参りも間（あいだ）が空くようになり、神様は祀っておりますが、新築してからは、あまり人目につかない所に祀つてあるのが祀つてあるのが私にはずっと気がかりでした。

そのようなときに、次男の嫁が二人目を妊娠して七ヶ月目で破水してお腹の羊水がなくなつて入院、いろいろ治療を施していただきましたが、五日目に超未熟児の五四グラムで生まれてきました。

その出産の日が、ちょうど御本部布教功労者報徳祭の日で、先生は早速金光様にお取次を頂いて下さるとともに「せっかく授かった命だから死なすわけにはいかない」と言つて下さつて、日々御祈念下さいました。

次男も毎日のように電話でお取次を頂いていたそうです。

保育器の中で半年間、何か所もいろいろな手術をしていただきましたが、金光様・教会長先生をはじめ教会ご家族の皆様のお祈り添えを頂き、半年で退院することができました。

病院の先生方は「赤ちゃんが小さい体でよく頑張ってくれましたね、奇跡だね」と言つて下さいました。

その子も今は二歳半になって体重も九キ口を超えて、すくすくとお育てをいただいております。

名城教会にお引き寄せを頂いて八年目、今年も一月九日十日と御本部初月例祭に若先生が運転される車で参拝させていただきました。

ご霊地の宿泊施設から、お出まし、御祈念、お届けと、毎年のごとく自分でさせていただき、金光様から大きなお声で「ようお参りでした」とお言葉を頂き、初月例祭にも参拝させていただき「おかけをたくさん頂いた」と喜んで帰路につきました。

そのようなときの午後二時頃、高速度路の竜野サービスエリアで、車から降りて歩いている間に突然転ん

でしまい、先生方に起こしていただいたのですが立つこともできなくなっていました。

奥様がすぐに教会へ電話をされてお取次を頂いてくださり、

金光様のご本宅で頂かれた御神酒を付けて湿布をして下さいました。

帰りに神戸の六甲教会へ年賀参拝をさせて頂いて下さり、六甲教会に電話をかけて下さり、休日でもやっている整形外科を調べていただき予約をしていただきました。

病院へついて検査をしていただいた結果「手首陥没骨折、ほかにも怪しいところがある」と言われましたが、入院はしたくありませんでしたので、そのことを伝えますと「帰ったらすぐに整形外科病院に行って検査してください」と言われ、レントゲン写真や診断書を頂きました。

そのあと、六甲教会に参拝させて頂いていただきましたが、私は車の中から遥拝をさせて頂いていただくこととなりましたが、帰り際に六甲教会長先生ご夫妻がわざわざお見送り下さりお祈りを賜わり、同乗の方にも心配をおかけし、帰りが遅くなりましたが午



名城教会
青木トミ子氏

後十時頃無事愛西市の自宅に帰らせていただきました。

翌十一日、十二日は日曜日で病院が

休みでしたので、お取次を頂いて三日に近くの整形外科で検査をしますと「股関節にヒビが入って骨が欠けているけど手術の必要はない」とのこと、翌十四日から津島リハビリテーションに入院しました。

退院は早くても二ヶ月後と言われましたが、金光様、教会長先生ご家族の皆様、信者の方々、六甲教会長先生ご夫妻、近所の方々など、たくさんの方々のお祈り添えを頂き、神様に助けていただきました。

予定より半月早く退院のおかげを頂き、間近に控えていました三月の愛西集会も日程を変更することなく仕えさせて頂きました。

今振り返ってみても、御本部参拝をさせて頂いたので大難は小難にお祭り替え下さったと思います。もしも転んだところに車が来ていたら、今頃どうなっていたかわかりません。

私たちが夫婦も結婚して五十二年間、嬉しいこともたくさんあって、難儀なことでもたくさんあって、その都度お取次を頂いて、神様に助けていただき、今日まで命のおかげを頂きありがとうございます。

五十二年の間で「一つだけよかったことは何ですか」と聞かれたら「信心を続けさせていただけましたこと」と答えます。

いつも教会長先生は「おかげを頂いたからといって安心するのではなく、これからもお取次を頂きながらおかげを頂いて下さい」と教えて下さいます。

これから先もいろいろなことがあるかもしれませんが、信心を続けさせていただき、お取次を頂き、素直にみ教えを聴かせていただき、三家族仲良く助け合って、難儀なことに出会っても乗り越えていくおかげを頂き「難はみかげ」にさせて頂いたことを願っております。

話が後先になってお聞き苦しかったことと思いますが、私の話を聞いて下さりありがとうございます。これで終わらせていただきます。

加治木教会

報徳祭

仕えられる

梅の花がほころびだした二月七日(日)加治木教会では、報徳祭が仕えられました。

前日から、まごころを込めての準備の御用があり、お直会のお弁当の下ごしらえや、玄關幕・下足箱・お広前の小旗の準備、隣接関係教会の先生方の更衣をされるお部屋の掃除、ご神前に供えられる活け花などが、信奉者皆で準備されました。



報徳祭当日、天気予報では厳しい寒さが訪れるということでしたが、小春日和に恵まれて比較的しのぎやすい一日となりました。

ご祭典は、教会長祭主のもと隣接関係教会の先生方五名で仕えられました。ご祭詞では、金光



の式年)をはじめ、安武松太郎大人、安武文雄大人、さらに道の布教功労者の霊神様方をお称え申し御礼申し上げます。

ご教話は、多良木教会長 梅木博光先生でした。(教話のCDを希望される方は教会までお申し出下さい。)

登勢一子大神大明媛之神(教祖様の奥様)、金光山神大道立別之命(教祖様の四男、教団草創期に尽力)、金光四神貫行之神(教祖様の五男、御取次の座を継承)、金光攝胤之神(金光四神様の長男、三代金光様)、金光鑑太郎之神(四代金光様)、金光真心高清姫(四神様の奥様で昨年百年

感 詠 (章)

難儀とはは
神様かからは
問いかけの
育ちけよの
励ましで行けどもあり



病(難儀)とは
神のなげかけ
改まり
心伸びゆく
きっかけでもあり

あたりまえ
尊くお礼を
申すこと
難きこと
と難きに語らう

「あたりまえ」
わかりかけては
いるもの
しみがたくなるまで
ありがたくなし

しあわせはい
難儀が少ない
こととなく
いかなることも
糧となるか

酷なるか
慈悲なることか
汝の心
如何に受けるか
見きわめ給ふ

あしあと 加治木教会行事記録

- 1 (月) ●報徳月例祭 10時半
- 4 (木) 甘木親教会初代立日御祈念10時
- 6 (土) 御用奉仕
- 7 (日) 加治木教会報徳祭 11時
- 9 (火) 斎掃御用 10時半
- 9、10 (少) 連合本部スタツフ会議
- 10 (水) ●生神金光 大神様月例祭10時半
- 12 (金) 矢野政美大人立日 10時半
- 14 (日) 上荒田教会 報徳祭 11時
- 17 (水) 甘木親教会 報徳祭 11時
- 併せて 甘木親教会初代六十五年祭
- 18 (木) 甘木親教会「同釜会」
- 21 (日) 多良木教会 報徳祭 11時
- 齋掃御用 10時半
- 22 (月) ●月例祭 共励会 13時半
- 28 (日) 少年少女会★チヨコ作り
- 29 (月) 斎掃御用 10時半

ご霊神様のお立日

三月

- 川畑ツネ 齋神 (1日) 昭和44年
- 中野サ子 齋神 (1日) 平成13年
- 永原スミ子 齋神 (1日) 平成20年
- 有蘭トシ 齋神 (2日) 平成26年
- 内村源二 齋神 (3日) 平成5年
- 野口益三 齋神 (5日) 平成26年
- 信國幾雄 齋神 (6日) 昭和42年
- 大山定二 齋神 (7日) 昭和61年
- 荒木美至 齋神 (7日) 平成18年
- 松田セイ 齋神 (8日) 昭和18年
- 本中野重則 齋神 (12日) 平成24年
- 矢野クラ 齋神 (13日) 昭和31年
- 松田モト 齋神 (15日) 昭和62年
- 信國徹志 齋神 (18日) 昭和52年
- 前田広実 齋神 (21日) 昭和36年
- 吉屋茂樹 齋神 (25日) 平成4年
- 津上陸奥 齋神 (29日) 昭和53年
- 本中野金四郎 齋神 (30日) 昭和4年
- 柳園ヨシ 齋神 平成25年

「先祖の」霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

三月二十日(祝) 午前十時半より

春季霊祭 奉仕

〔祭典後、教話、茶話会〕
※霊祭申込用紙をお結界にお届け下さい。

三月十二日(土)・十三日(日)

午後二時より 午前十時より

典楽会

※十二日は主に初心者 申込締切
三月一日
鹿児島教会にて
会費・昼食費など 一五〇〇円
琴・龍笛・笙・箏・筆・太鼓

四月二日(土)・三日(日)

〔教話〕祭典、三日十三時より
天地金乃神様

御本部御大祭 参拝

出発：二日午前7時頃
帰着：三日午後8時頃
交通機関：未定

四月一日(火)

月例祭に併せて

勸学祭 奉行

健康な成長と学業成就の御礼と
お願いを申し上げます。

※参拝の少年少女にはお直会があります。

教会行事

3月

- 1 (火) ●報徳月例祭 10時半
- 9 (水) 斎掃御用 10時
- 10 (木) ●月例祭10時半
- 12 (土) 〓13 (日) 典楽講習会 鹿児島教会
- 13 (日) 矢野クラ刀自立日 御折念 十時
- 19 (土) 斎掃御用 10時
- 20 (祝) ●春季霊祭 10時半
- 22 (火) ●月例祭・共励会13時半
- 24 (木) 女性委員会 (上荒田教会)
- 26 (土)・27 (日) 連合会 信徒会委員会 (串木野教会)
- 27 (日) 少年少女会 10時半
- 31 (木) 斎掃御用 10時

《未定行事》青年会・若婦人会

加治木教会 バンド練習会

練習日 随時連絡します。
今年も練習会に参加のおかけを頂き、みなで5月の布教六十五年記念大祭のお直会での演奏や、8月の全国大会で、お役に立たせていただきますように。

4月

- 1 (金) ●報徳月例祭 10時半
- // 併せて◆勸学祭
- 2 (土) ◆御本部参拝 出発
- 3 (日) ◆御本部天地金乃神大祭
- 9 (土) 斎掃御用 10時
- 10 (日) 人吉教会布教105年記念大祭
- 12 (火) ●生神金光大神様月例祭 10時半
- 16 (土) 〓17 (日) ◆甘木親教会 青年の集い
- 14 (木) 連合会執行部会 十時半、上荒田教会
- 20 (水) 小倉教会桂松平大人100年祭
- 21 (木) 斎掃御用 10時
- 22 (金) ●月例祭・共励会 13時半
- 25 (月) 甘木親教会 御大祭 第1日
- 26 (火) 甘木親教会 御大祭 第2日
- 30 (土) 斎掃御用

八月三日(水)・六(土) 出発二日 午前九時、午後三時解散

御本部年代別キャンプ

対象、中高生 ※スタッフで矢野裕子参加
詳しくは、教会まで。